

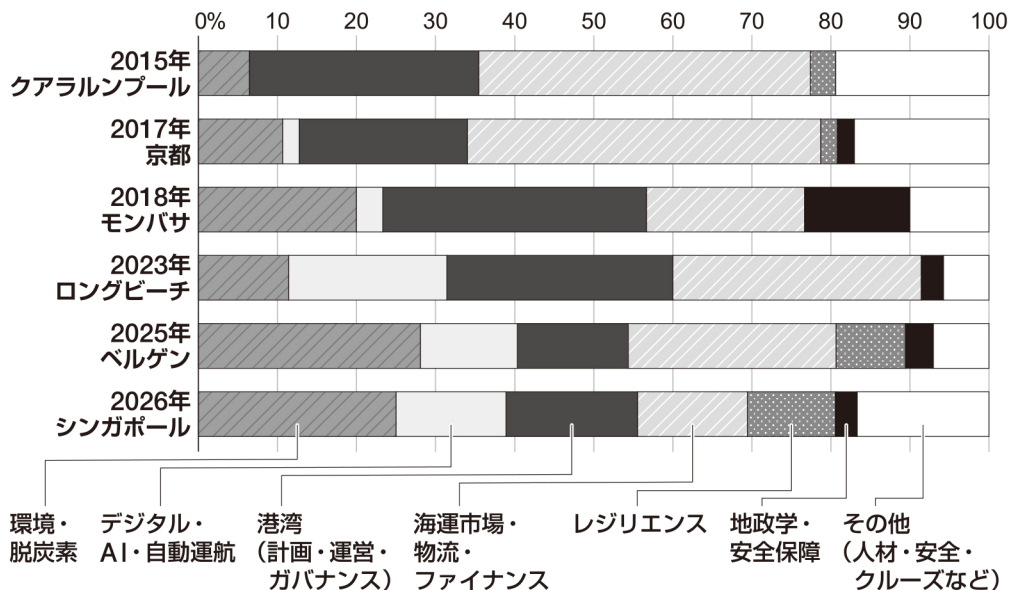
IAME年次大会の開催地と大会テーマ（2012—26年）

年	開催都市	国・地域	大会テーマ（筆者要約）
2012	台北	台湾	（公式テーマ確認できず）
13	マルセイユ	フランス	海運・港湾市場における複雑性のマネジメント
14	ノーフォーク	米国	パナマ運河拡張後時代の海運経済
15	クアラルンプール	マレーシア	海事クラスターとイノベーションの役割
16	ハンブルク	ドイツ	未来における海上輸送
17	京都	日本	発展する世界貿易における海上輸送の質
18	モンバサ	ケニア	新興経済における海事・港湾・物流の持続的発展（ブルグロース）
19	アテネ	ギリシャ	海事産業の重要課題と将来（船舶金融を重視）
20	香港	中国	海運と貿易の持続可能な発展
21	ロッテルダム	オランダ	トランジション（移行）の加速
22	釜山	韓国	コロナ禍の海事産業への影響—課題と対応
23	ロングビーチ	米国	グローバル経済の新たな現実
24	パレンシア	スペイン	スマート・グリーン・社会的価値を生む海事エコシステムの構築
25	ベルゲン	ノルウェー	統一テーマなし（気候変動・エネルギー転換が中心）
26	シンガポール	シンガポール	デジタル化・脱炭素化・レジリエンスの探究と海運経済の未来

（注）テーマは各大会の公式テーマなどを基に筆者が要約・翻訳

出所：IAME ウェブサイトおよび各年大会プログラムなどから筆者作成

IAME年次大会のセッション構成の変化（分野別構成比）



（注）各年大会プログラムのセッション名を筆者が7分野に分類（総セッション数：2015年31、17年47、18年30、23年35、25年57、26年36）。分類は筆者の判断による